

秋田県立大学

『森林科学セミナー』のご案内

【キーワード】木炭、熱分解、表面官能基、空隙特性、CDR

秋田県立大学 森林科学研究室では、月に一度『森林科学セミナー』を行っています。大学内外の方を講師としてお招きし、様々なトピックスについて興味深いお話をさせていただき、多数の参加者の方々と共に議論を重ねたいと思います。

今回は、秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授 栗本 康司 さんから、

「隅におけない炭のはなし」をテーマにお話しさせていただきます。

「森」・「自然」に興味のある方ならどなたでも参加でき、自由に議論できる場にしたいと考えております。多数の方のご参加をお待ちしています。

第157回 12月16日(月) 16:30-18:00

「隅におけない炭のはなし」

場所：秋田県立大学 学科棟Ⅱ 中講義室1 (E126教室)

演者：栗本 康司 (秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授)

木炭は、酸素を制限した環境下で木材を熱分解することで製造される。木材は主に3つの化学成分—セルロース、ヘミセルロース、リグニン—からなるが、それぞれの化学組成により熱分解する温度範囲が異なる。また、熱分解により固相での解重合や重縮合反応により脂肪族と芳香族炭化水素の両方を持った構造から芳香族系のそれに変化していく木炭化(charcoalization)の過程や、炭素化(carbonization)と呼ばれる芳香族の多環化や多層構造の進行は、木炭としての質や微細空隙量などに非常に大きな違いを生む。

本セミナーでは、木材の熱分解過程とともに、それに伴う生成物や熱分解残渣(木炭)の特性について概説する。また、多くの成書やインターネット等で木炭には多くの機能性があることが紹介されているが、それらの効果や機能が、どのような科学的、技術的視点から述べられているのか、また、どのような使用方法が適しているのか、セミナー受講生の皆さんと考えてみたい。更に、最近注目を集める二酸化炭素除去(CDR, carbon dioxide removal)技術としてのバイオ炭についても紹介する。

参加自由：来聴大歓迎！(事前申し込み不要：参加無料)

問い合わせ先：秋田県立大学 生物環境科学科 森林科学研究室

〒010-0195 秋田市下新城下野

TEL：018-872-1618(坂田) -1608(星崎) -1619(蔭田)

FAX：018-872-1677

E-mail：sakata@akita-pu.ac.jp

<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbe/forest/>

